

# 更埴教育会だより

第1号 令和7年7月  
文責 教育会あり方検討委員会

このおたよりは、全職員に配付しています。興味がわいた方、いつでも会員募集中です！

## 令和7年の更埴教育会 活動がスタート

5月には、新入会員歓迎会や教育会総集会が行われ、各研究委員会や教育研究会などが発足し、年間計画に沿って様々な活動が行われています。「教育会あり方検討委員会」では、今年度のテーマ・活動方針を更埴教育会の「よさ」や「課題」を共有・発信～さらに魅力がある更埴教育会を目指し～として、更埴教育会を色々な方たちでPRしていきたいと考えております。

この「更埴教育会だより」では、多くの先生方に更埴教育会の活動の「よさ」に加えて、更埴教育会活動の「課題」なども掲載して、会員のみならず、全職員で共有し、みんなで更埴教育会を盛り上げていけるようにしていきたいと思います。1年間よろしくお願いします！！



## 新任者歓迎会（5／1）

5月1日（木）、更埴教育会館で、「新任者歓迎会」が行われました。新任者の先生方が参加し、教育会館の2階は、緊張感もありながらも、フレッシュな雰囲気であふれていました。会の中では、和田敦様（信濃教育会）から、「次善」ベストでなく、ベターの気持ちで取り組む大切さ、信濃教育会でお互い研修し高め合うよさのお話や、更埴教育会の紹介ビデオの視聴もありました。また、日頃なかなか話す機会がない他校の先生方と情報交換をしたり、来賓・顧問の先生方と話をしたりするなど、参加者にとって有意義な時間となりました。



### 【本年度の新任者の先生方】敬称略

室賀美玖（南条小）	佐藤源弥（坂城中）	小澤新正（更級小）	柿島倫子（五加小）	林 花楓（埴生小）
中村丹音（埴生中）	山本直輝（治田小）	瀧ヶ崎香苗（治田小）	中 美雅（更埴西中）	
飯田泰智（稻養）	藤岳淨信（稻養）	林部和樹（稻養）	村山彩音（稻養）	中澤桜紀（稻養）
小林祐太（稻養）	佐々木知憲（稻養）	中井大貴（稻養）	以上17名	

### ～新任者歓迎会に参加された先生方の声～

教育会の先生方からたくさんの歓迎のお言葉をいただき、更埴の教職員として仲間入りさせていただいたことを嬉しく感じました。更埴の紹介ビデオも大変興味深く、これから子ども達と地域の学習を進めていくことが楽しみになりました。今後も研修や交流の機会を大切にしていきたいです。 （五加小：柿島倫子先生）

様々な立場の先生方と話をする機会をいただけたことで、更埴地域の温かい繋がりを感じることができました。これからの教員生活で学び続けていく場の一つとして大切にしていきたいです。

（埴生小：林 花楓先生）

小学校や養護学校の新任の先生方とお話するのは初めてで、よい時間を過ごすことができました。はじめての環境の中で日々やりがいを感じているとお話される先生方の姿に、私もより一層頑張ろうという気持ちになりました。

（更埴西中：中 美雅先生）

## 更埴教育会総集会（5／17）

今年度は、講師に數学者・大道芸人であるピーター・フランクル先生をお招きし、「人生を楽しくする方程式」と題してご講演をいただきました。

随所にちりばめられたユーモアと素晴らしいパフォーマンス、そして数学の世界に引き込まれる時間となりました。ご講演の中では、ご自身の生い立ちから、差別や戦争がなくならない世の中にあって「数学が全世界共通の言語である」という数学の魅力や、「聞き上手」になることの大切さ、「結果」ではなく「過程」を好きになる指導の重要性など、明日からの教室につながるたくさんのご示唆をいただきました。

教師としてのあり方、そして自らの生き方について考える、学びの多い講演会となりました。



ピーター・フランクルさん

よさ・課題の発見！

オンライン通信の活用は、教師の働き方改革、ICTの積極的活用、会場借用費の節約につながっています。

講演会は、自己の視野を広げるうえでよい機会となっています。

昨年より自宅などから個人で接続ができ、参加しやすくなりました。今年度は、かなり多くの方が利用していました。

例年、会員からの希望を聞きながら、講師が決め出されています。リモートなので、ピーター・フランクルさんの演出を生でみられないのが残念。【課題】

## ～更埴教育会の歴代講師の方紹介（更埴教育会のよさ）～

### 【歴代の講師】

H22	哲学者 川田 殖 氏	H23	相田みつを美術館長 相田 一人 氏
H24	作家 井沢 元彦 氏	H25	精神科医 香山 リカ 氏
H26	杏林大学外国語学科教授 金田一 秀穂 氏		
H27	大村はま記念国語教育の会事務局長 荻谷 夏子 氏		
H28	政治学者 姜 尚中 氏	H29	落語家 林家 木久藏 氏
H30	弁護士 菊池 幸夫 氏	R元	金子みすず記念館長 矢崎 節夫 氏
R 2	新型コロナのため中止	R 3	東北大学加齢医学研究所長 川島 隆太 氏
R 4	作家 ドリアン助川 氏	R 5	人とホスピタリティ研究所代表 高野 登 氏
R 6	臨済宗妙心寺退蔵院 副住職 松山大耕 氏	R 7	数学者・大道芸人 ピーター・フランクル 氏

## 第139回信濃教育会総集会 佐久大会（7／5）

信教総集会佐久大会が、小諸市文化センターで行われました。

パネルディスカッションでは、「信州教育の明日を拓く～子ども一人一人の学びを豊かにする授業とは～」をテーマに、小学校の生活科、総合的な学習や中学生の英語、美術の授業の実践発表をもとに話が進められ、児童・生徒が主体となる授業について考える時間となりました。

また、ポスターセッションは、今年度はオンラインにて実施されました。更埴地区からは、屋代高校附属中学校の山田裕也先生が、「生徒が『まとまりのある文章が書けた！』と実感できる英語授業」というタイトルで、7月11日に発表されました。新しく赴任したALTに「附属中学校の紹介」を通して、まとまりのある文章を書く力を育成することを目指した研究内容でした。生徒が個別に学ぶ場面や友達と協動的に取り組む場面を取り入れ、まとまりのある文章を書くことを段階的に学ぶことで、書くことの能力の伸長が見られたという発表でした。

午後には、今年度より信濃教育会教育研究所所長となられた、岩川直樹先生による「かかわりを編み直す教育」の講演がありました。かかわりとは、について、また子どもとのかかわりを編み直すために「かかわりのなかのわたしを知ろう」「小さな出来事を大切にしたい」「子どもの成長と学級の生成をつなごう」「共々に変わる過程に教育のゆたかさを」といった内容についてお話をありました。「小さな出来事を分かちあいたい それを並び見る間柄のなかで 教育の意味を問いつづけたい」という最後の言葉が心に残りました。

